

大分県 令和7年度地域づくりアート人材育成セミナー

芸術起業塾

Artpreneurs Academy

企画書

2025 年 7 月 7 日

本事業は、大分県より委託を受け Yamaide Art Office 株式会社が企画・運営しております。

お問い合わせは、下記の宛先にお寄せください。

アドレス **01@yamaideartoffice.com**

対応時間 **平日 10:00～17:00**

担 当 中村

※メールの件名（題名）は「R7 芸術起業塾 お名前」としてください。

※時間外にいただいたお問い合わせは、翌営業日以降の対応となります。あらかじめご了承ください。

※公募期間中はお問い合わせが集中するため、対応にお時間をいただく場合があります。

余裕をもってご連絡いただきますようお願いいたします。

本講座を通じて何をを目指すか

人口減少や少子高齢化、技術革新や市場の変化、環境問題、感染症の拡大など――。将来の予測が困難な「VUCA」と呼ばれる時代において、地域や企業が直面する課題は複雑化し、これまでの手法だけでは解決が難しい局面が増えています。今ほど、既存の価値観にとらわれない思考力や、新たな価値を生み出す創造力が求められている時代はないのではないのでしょうか。

そうした中で、地域振興の成功例として広く知られているのが、香川県・瀬戸内エリアにおけるアートを軸とした取り組みです。民間財団の活動を起点に始まった芸術祭は、地域経済への波及効果や国際的な知名度の向上といった大きな成果を上げ、全国の自治体に多大な影響を与え続けています。また、「創造的過疎」を掲げ、アーティストや起業家が移住し、新たな事業やコミュニティづくりが進む徳島県・神山町や、地域産業とデザインの融合が根付き始めた福井県・鯖江市も、民間の先駆的な取り組みを起点に、官民が連携しながら成果を広げてきた好例と言えるでしょう。

ここ大分県でも、2005年にBEPPU PROJECTが発足し、アートを通じた地域振興が始まりました。2021年には全国最大規模のアートNPOへと成長し、大分県や県内自治体と連携しながら、地域課題と日々向き合い続けています。

地域課題の解決策は、時と場所によって異なります。また、地域課題は短期的な対応で解決できるものではなく、継続的な取り組みが欠かせません。今求められているのは、課題の背景にある本質を見抜く力、そして地域の資源や人材を結びつけ、課題を乗り越えるための知恵や技術を編み出し、新たな価値を生み出す創造力と、それを実現し続ける経営力ではないのでしょうか。

つまり、アートを手段に地域振興を担うには、創造力と経営力の双方が不可欠であると言えるでしょう。

本講座は、そうした力を備えた人材――地域の課題に向き合う新たな組織の経営者、次なるプロデューサー＝芸術起業家を育成することを目的としています。

ここで芽吹いた人材たちは、やがて地域と手を取り合い、さまざまな実践を生み出していくでしょう。やがてその輪は広がり、大きな花を咲かせ、次の種を蒔いていく――。

そんな未来を思い描きながら、本講座を開講します。

募集内容

本講座は、アートやデザイン等を活用し、自治体や企業などと連携しながら多様な地域課題の解決に取り組む人材の輩出を目的としています。受講者には、将来的に起業し、法人を運営する意思を持つことを求めます。こうした人材の育成には一定の時間と経験の取得が必要であるため、令和7年度から3年間の講座実施を予定しています。

また、修了者には修了証を交付し、令和10年度には大分県内の自治体と連携し、補助金等を活用した具体的な地域振興事業に取り組んでいただくことも視野に入れています。

※ 令和8年度以降の実施については、大分県の予算状況等により、変更となる場合があります。

募集対象 |

- ・ アートやデザインを活用した地域課題解決に取り組んでいる、または取り組みを志し、将来的に起業・法人経営を目指している方（組織内で新規事業を立ち上げようとしている方、既に起業・法人経営をされている方も対象になります）
- ・ 原則、すべての講座へ出席が可能な方（オンライン参加不可）
- ・ 3年間継続して受講する意志のある方（2年目以降の追加募集は原則行いません。令和8年度以降の実施については、大分県の予算状況等により、変更となる場合があります）
- ・ 令和10年度に県内自治体と連携し、地域振興事業に取り組む意志のある方（令和8年度以降の実施については、大分県の予算状況等により、変更となる場合があります）
- ・ 将来的に大分県内の地域課題に向き合う意思のある方（県外の業務に携わることは妨げません）
- ・ 大分県内および視察先での受講が可能であること（国籍・現在の居住地は問いません。交通・滞在費や準備費は自己負担です）
- ・ 応募時に18歳以上であり、日本語での受講に問題のない方
- ・ 主体的に学ぶ意欲があり、受講生同士のコミュニケーションに積極的な方
- ・ 情報共有等に必要の通信施設の設備を保有し、常時メールでの連絡がとれる体制が整っている方

※ 各講座終了後には、受講生同士の連帯感を高める目的で懇親会を実施予定です。可能な限りご参加ください。

募集人数 | 10名程度

令和7年度受講料 |

3,000円（『Art Fair Beppu2025』入場料、『瀬戸内国際芸術祭 2025 公式ガイドブック』含む）

※ 『瀬戸内国際芸術祭 2025』パスポートは別途ご用意ください。

応募書類 | 指定の様式をWebサイトよりダウンロードし、必要事項を記入の上、提出してください。

様式1（基礎情報、記述課題） Word 書類

<https://yamaideartoffice.com/news/artpreneursacademy/>

書類選考通過者は7月末に2次審査（オンライン面談）を行います。

※ 審査結果や不採択理由等にはお答えできませんので、ご了承ください。



講座内容

令和7年度の講座内容（一部調整中） |

R7年度は、芸術起業家と呼ばれる人材に必要な考え方や覚悟、地域との関わり方について学びます。従来の方法では解決が難しい課題に対しては、常識や固定観念を疑い、ゼロから物事を捉え直し、自ら一步を踏み出す力が求められます。こうした推進力を持つ国内のプロデューサーや活動組織の方々から、実践の現場で培われた経験や考え方についてお話を伺います。

受講生は原則すべての講座への出席が必須です（オンライン参加不可）。

1 回目	
日時	令和7年9月28日（日）14:00～17:00
会場	別府国際コンベンションセンター／ビーコンプラザ 〒874-0828 大分県別府市山の手町 12-1
講師	山出淳也（Yamaide Art Office 株式会社 代表取締役）
内容	アートによる地域活性化の国内事例を紹介しします。芸術祭やアートフェアが全国で開催される背景とその意義について講義を行います。その後、『Art Fair Beppu 2025』の会場を案内し、参加アーティストとの交流を行います。講座終了後、別府市内にて交流会を実施します。
2 回目	
日時	令和7年10月11日（土）15:00-16:30
会場	高松港旅客ターミナルビル ※現地集合 〒760-0019 香川県高松市サンポート 1-1
講師	瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局
内容	我が国の文化振興を大きく変えた『瀬戸内国際芸術祭』。芸術祭を開催することで何を指すか、手応えから課題まで、主催者の立場で実行委員会・事務局よりお話を伺います。
3 回目	
日時	令和7年10月12日（日）①9:30-11:00 / ②11:00-（途中昼食を挟む）
会場	① 高松港旅客ターミナルビル / ② 芸術祭会場のいずれか一島 ※現地集合
講師	① 北川フラム（『瀬戸内国際芸術祭』総合ディレクター／アートフロントギャラリー代表） ② 甘利彩子（NPO 法人瀬戸内こえびネットワーク事務局長）
内容	① 基調講演 本講座の基調講演として、『瀬戸内国際芸術祭』をはじめ、地域を舞台にしたアートによる数多くの取り組みを45年以上にわたり推進してきた北川フラム氏をお招きし、講演を行います。活動理念や、『瀬戸内国際芸術祭』の企画内容についてもご紹介いただきます。 ② 世界中から幅広い年齢層の方々が瀬戸内に集まり活動するボランティアサポーター“こえび隊”。その運営組織である NPO 法人の関係者から、サポーター、行政や民間機関、観客をつなぐ中間支援組織として、日々何を大切に、どのような活動を行っているか、実際に会場となる島を訪れ、お話を伺います。 2 回目と3 回目の講座を踏まえ、各自自由に『瀬戸内国際芸術祭』を体験していただきます。

4 回目	
日時	令和7年11月1日（土）15:00～18:00
会場	iichiko 総合文化センター 〒870-0029 大分県大分市高砂町 2-33
講師	新山直広（TSUGI 代表/SOE 副理事/クリエイティブディレクター）
内容	グッドデザイン賞受賞事例を中心に、地域課題へのクリエイティブなアプローチを紹介します。その後、福井県鯖江市で地域活動に取り組む新山氏による講義を行います。講座終了後には新山氏との交流会を実施します。受講生には課題を出し、次回に発表していただきます。
5 回目	
日時	令和8年2月14日（土）14:00～17:00
会場	大分市内（会場未定）
講師	山出淳也（Yamaide Art Office 株式会社 代表取締役）
内容	BEPPU PROJECT 設立の経緯や、当時直面した困難、実践の裏話を交えながら講義を行います。その後、前回提示した課題について、受講生それぞれが発表を行います。さらに、次年度の講座で学ぶテーマや方向性について共有し、それに向けた事前準備として各自が取り組むべき学びや課題についてもお伝えします。講座終了後には交流会を実施します。

4 回目の講義を受け、より理解を深めていただくための研修会を以下の通り実施します(希望者のみ参加)。

日時：令和7年11月3日（月祝）14:00～16:00／会場：東京ミッドタウン・デザインハブ

内容：『グッドデザイン賞』を主催する(公財)日本デザイン振興会の矢島進二理事によるレクチャー。

同日に開催されている受賞展については、各自自由に鑑賞いただきます。

講座を通じて育成する能力 | ※ 令和8年度以降の実施については、大分県の予算状況等により、変更となる場合があります。

本講座は、自治体や企業からの依頼に応えるだけでなく、社会にまだ存在しない価値を構想し、地域に根付かせていくような、創造的で主体的な「芸術起業家」の育成を目指しています。

そのために、3ヵ年かけ、以下の4つの能力の向上を目標に、プログラムを組み立てます。

問題発見力	すべての企画は課題の定義から始まります。物事や事象の本質を見抜く力を養います。
思考力	課題を解決するために必要な観察・分析・編集・再構築の力を養います。
創造力	必要な内容を表現し、形にするための独自の方法を見つけ、身につけます。
継続力	継続に必要な知識や方法を学びます。また、企画書や創業計画書の作成にも取り組みます。

令和8年度以降の講座内容（予定） | ※ 令和8年度以降の実施については、大分県の予算状況等により、変更となる場合があります。

R8 年度	経営手法と資金調達を中心とした実践的知識の習得
アートやクリエイティブを活かした事業の展開に不可欠な、経営手法および資金調達に関する実践的知見の習得を目指します。芸術起業家2組程度によるレクチャーや対話型プログラムを中心に実施します。	
R9 年度	地域課題に応じた企画立案と実行可能性の検討
県内各地域で調査を行い、地域の課題を抽出します。その上で課題解決に向けた企画を立案し、自治体関係者と連携しながら実行可能性を探ります。あわせて、創業計画書の作成や資金調達に向けた準備も行います。	

講師プロフィール

瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局

第2回講座担当

『瀬戸内国際芸術祭』とは、“海の復権”をテーマに掲げ、瀬戸内の島々を舞台に3年に1度開催される現代アートの祭典です（2010年に初開催）。約100日間の会期は、春・夏・秋の3シーズンに分かれていて、季節ごとに瀬戸内の魅力を体感できます。会期中には国内外から約100万人の方々が訪れる日本を代表する国際的な芸術祭で、今年も開催されています。

北川 フラム（『瀬戸内国際芸術祭』総合ディレクター／アートフロントギャラリー代表）

第3回基調講演担当

1946年新潟県高田市（現上越市）生まれ。東京芸術大学美術学部卒業。アートフロントギャラリー代表。主なプロデュースとして、ガウディブームの下地をつくった「アントニオ・ガウディ展」（1978-79）、全国80校で開催された「子どものための版画展」（1980-82）、全国194ヶ所38万人を動員し、アパルトヘイトに反対する動きを草の根的に展開した「アパルトヘイト否！国際美術展」（1988-90）、米軍基地跡地を文化の街に変えた「ファール立川アートプロジェクト」（1994）等。地域づくりの実践として、「越後妻有アートトリエンナーレ」、「瀬戸内国際芸術祭」、「北アルプス国際芸術祭」、「奥能登国際芸術祭」、「内房総アートフェス」、「南飛騨アートディスカバリー」等の総合ディレクターをつとめる。フランス、ポーランド、オーストラリアから勲章を受勲。2016年紫綬褒章、2017年度朝日賞、2018年度文化功労者。2019年度イーハトーブ賞他を受賞



甘利 彩子 Ayako Amari（NPO 法人瀬戸内こえびネットワーク事務局長）

第3回講座担当

1981年長野県長野市生まれ。2004年香川県高松市に移住。2009年、瀬戸内国際芸術祭ボランティアサポーター「こえび隊」立ち上げ、事務局の運営を始める。2012年、NPO 法人瀬戸内こえびネットワーク発足。こえび隊事務局をはじめ、島々との交流や芸術祭における食やパフォーミングアーツ、ツアー、継続プロジェクト等の企画・運営を行う。また大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ、北アルプス国際芸術祭、奥能登国際芸術祭等々、地域型芸術祭のサポーター事務局の運営に携わる。



新山 直広 Naohiro Niiyama (TSUGI 代表/SOE 副理事/クリエイティブディレクター)

第4回講座担当

1985年大阪生まれ。京都精華大学建築分野卒業。鯖江市役所を経て2015年にTSUGI LLC.を設立。インタウンデザイナーの提唱者として「RENEW」「SAVA!STORE」など、地域資源を活用した創造的な地域づくりを行っている。2022年に観光まちづくり会社 SOE を設立。グッドデザイン賞特別賞など受賞多数。共著に「おもしろい地域には、おもしろいデザイナーがいる」(学芸出版)がある。グッドデザイン賞審査委員。



山出 淳也 Jun'ya Yamaide (Yamaide Art Office 株式会社 代表取締役)

ファシリテーター／第1回・第5回講座担当

1970年大分生まれ。文化庁在外研修員としてパリに滞在(2002～04年)するなど、国内外でアーティストとして活動した後、2005年に BEPPU PROJECT を設立。以降、BEPPU PROJECT が企画し実現した1,000以上の取り組みに関わる。地方都市でのアートプロジェクトのプロデュースや企画・運営のほか、地域や企業の課題解決を図る取り組みを数多く手がけ、BEPPU PROJECT を国内有数のアート NPO に育てる。2022年3月に代表を退任し、Yamaide Art Office 株式会社を設立。BEPPU PROJECT ファウンダー。

